

今保育園では、節分に向けて各クラスそれぞれに味のあるお面を作って飾ったりしています。たんぽぽ組さんたちは、「オニ作ったの」と部屋に飾ってある自分たちのオニのお面を紹介してくれました。「カバ作ったの」という子もいましたけどね。

そらさんはオニのお面をかぶって「♪おにだぞ、お～にだぞ！ わ～るい子はい～ないか」と小さい子たちのクラスへ出かけて行って、散歩先で取って来た鬼の苦手な“ヒイラギ”の葉を“お守りペンダント”にして手渡したりしていました。



2月3日の節分当日は保育園に待望の？鬼がやってきます。子どもたちと豆まきをして、無病息災を祈りたいと思います。

### 命のはなし

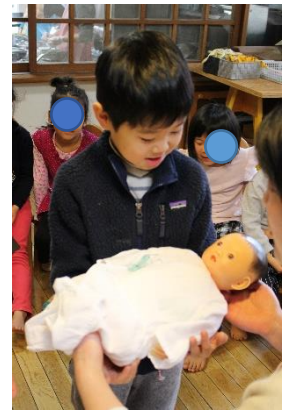
子どもたちに、命が生まれてくることの素晴らしさと、その命を大切にしたいという思いから、どんぐり保育園では5歳児を対象に「命のはなし」を、助産師の山形さん（どんぐりOB）に保育園に来てもらい、行っていただいています。ののか保育園の5歳児、H君とZ君にもその機会を持ちたいと考え、今年度はどんぐり保育園にお邪魔してどんぐりの子どもたちと一緒に話を聞く機会を持つてきました。

あかちゃんが生まれてくるまでの話しや、心音を聞かせてもらった後、はがき大の黒画用紙に針で穴をあけたものが手渡され、「この小さな穴、自分の最初の体だよ」と教えてもらうと「こんなにちいさいんだ～」と驚いている子どもたちでした。

このあかちゃんが少しずつ大きく、そして重くなっていく実物大のモデルを見せてもらいながら、実際に抱っこし、あかちゃんの重さを感じとっていた子どもたちでした。

子どもたちは、「生まれてくるときあかちゃんが一番がんばった」「黒い点（あかちゃん）があんなにちいさかったんだとおどろいた」「かわいかった」など感想を出し合っていました。

家に帰ってからも、親子で生まれてきた時のことなど話し合われたようで、昨年弟が生まれたH君は「弟が生まれたとき、とてもワクワクして嬉しかったから、きっとママもパパもこんな気持ちだったのかな」と自分が生まれたときのことを想像して話をしていたようです。



### /// 山形さんから子どもたちへのメッセージ ///

- ・一人ひとり、待ち望まれて生まれてきた世界でたった一つの大切な宝物である。
- ・お母さんのおなかの中で10カ月いて、頑張って生まれて来たこと。
- ・命を大切にすること。それは自分自身を大切にすること。
- ・まわりの人のことも大切にすること。